

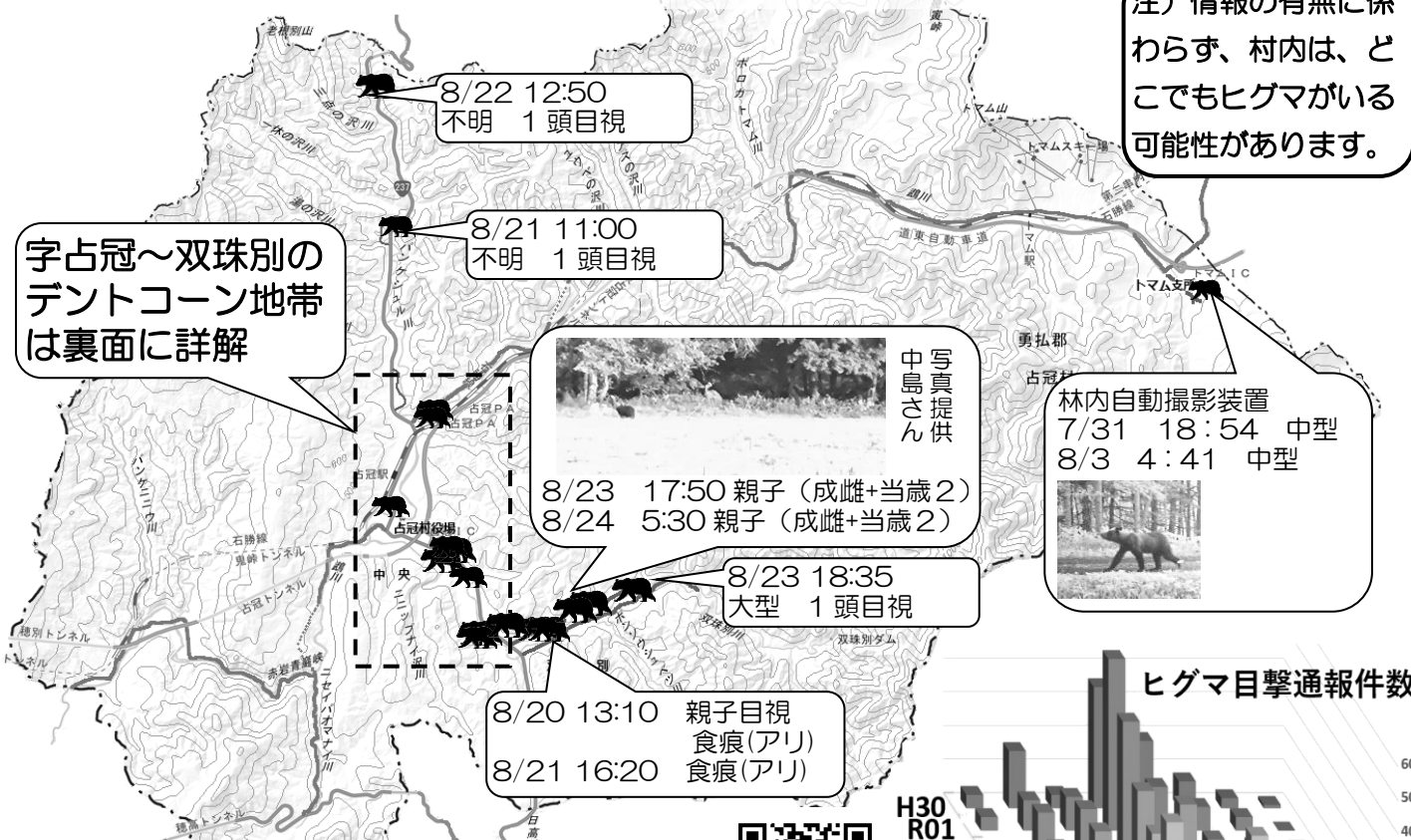
ヒグマについてのお知らせ

令和7年9月 広報おりこみ

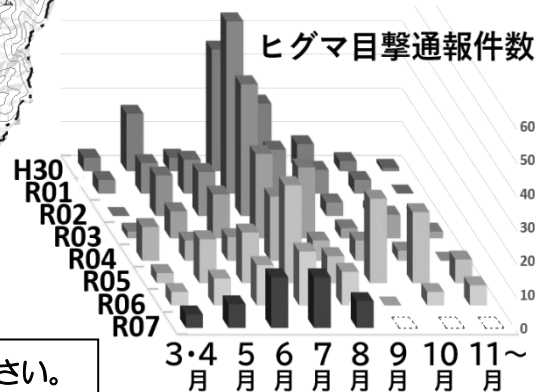
例年よりヒグマが静かな夏を過ごしていますが、静かなながらも細々と、私たちの身の回りでの活動情報は続いています。8月は湯の沢方面で散発的な目撃があり、月半ばに中央千歳橋下流で突発的な目撃情報がありました。また月の後半から双珠別でのアリ・採草地利用が始まりました。

こうした動きとは別に、中央・占冠・双珠別でのデントコーン圃場への侵入は例年同様、7月末ごろから発生し8月半ばに本格化しております。ただその程度はいまのところ低調で、少数の圃場に被害が集中する傾向を見せています（裏面詳細）。

表面的には静かでも、ヒグマが身近にいる限りは人身被害の可能性はありますので、秋に向けても気を引き締めて対応してまいりましょう。



ヒグマ情報マップは村ホームページにも掲載しています
<http://www.vill.shimukappu.lg.jp/shimukappu/section/nourin/ringyou/nmudtq000002reii.html>



- 次のような状況はすぐに対策が必要です。
- 住宅や事業所等、人の生活する場所に現れた。
 - 道路上や道路脇、農地に居座っている。
 - 人に気付いても逃げない。
 - 人に近づく素振りを見せる。あとを付けてきた。
 - 持ち物を奪われた。
 - 農作物や生ゴミなど、人工物を食べている。
 - 人や家畜、ペットが襲われた。
 - ヒグマが車と衝突、けがをして道路周辺にいる。

すぐにお知らせください。
 状況に応じ、注意喚起や立入制限、追い払いや捕獲等の対処をします。
 占冠村役場 農林課
 林業振興室 野生鳥獣担当
 ☎0167-56-2174
 占冠 駐在所
 ☎0167-56-2110

- 次のような状況では、静観できると考えられます。
- 山間部で道路の横断を目撃した。痕跡があった。
 - 山林内でヒグマの痕跡を見た。
 - 山林内でヒグマを目撃した。ヒグマは立ち去った。

役場林業振興室に情報をお寄せください。生息状況の基礎データとして集積し、対策に活かしてまいります。

▲「比較的に静かな夏」
 今年はこれまでのところ昨年度とよく似た経過をたどっています。
 昨年は静かな夏に続いて静かな秋、一昨年は激しい夏に続き激しい秋でした。今年の秋はどうなるでしょうか。

🐻 よろしくお願ひ致します。占冠村役場 農林課 林業振興室 ☎0167-56-2174

デントコーン畑の被害発生状況 (7/31~8/28)

被害圃場は限定的で、まだ無傷の圃場が多いようです。被害面積は過去年に比してさらに少ないとみられます。ヒグマの侵入によって受けたシカ柵の損傷を速やかに補修しています。

酪農学園大学とともに、シカ柵突破防止のための電気柵の実用試験（3年目）に取り組んでいます。



写真①

8月3日以降も継続的に圃場に向かった足跡が確認されています。

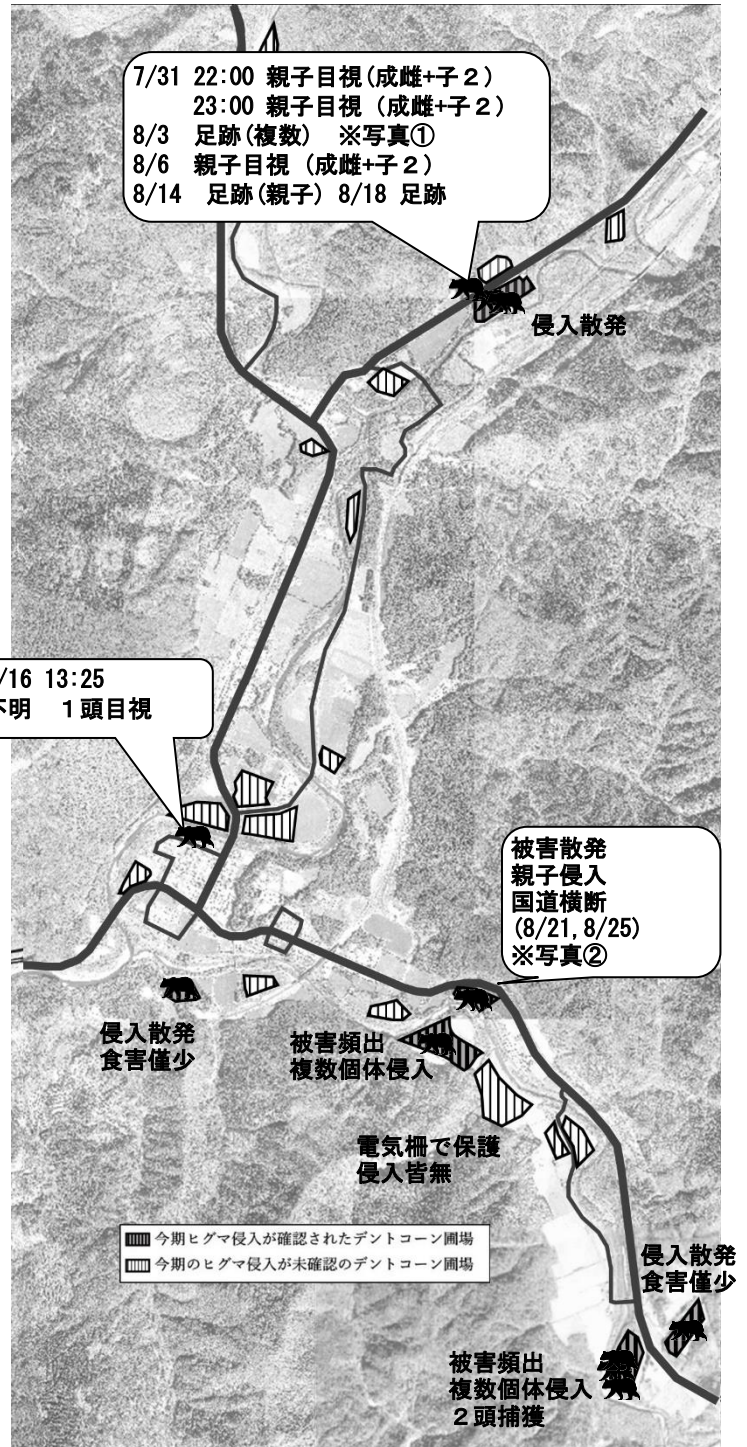


写真②

親子の国道横断跡。複数回横断したものとみられます。足跡は同じ道をたどっており、定着的な利用の危険性もあります

人身への被害波及も防ぎましょう。

- トウモロコシ畑のなか、裏側（山手側）に入らない!!
- ヒグマを誘引する物（甘い匂い、発酵臭、腐敗臭を発する物、生ごみ、肉、魚介類、果物）を屋外に放置しない!!
- 身の回りで目撃、痕跡、その他異変を察知したら、すぐに担当へ連絡を!!



千歳橋での目撃対応について

8月16日の13:20頃、国道237号千歳橋を走行中の車上より、河川にいる中小型のヒグマ1頭を目撃したとの情報を、一般の通行者の方から観光協会さんを介して受けました。直後にヒグマは姿を消しており、13:35に村担当職員が付近を警戒したときもヒグマを見ませんでした。こののち千歳橋から青砥橋までの鶴川左岸を警戒し、15:30までにヒグマが滞留していないものと確認しました。付近に看板を設置し注意喚起を続けております。隣接するデントコーン圃場には明瞭な食痕はありません。現場では今後もヒグマの活動がありうるものとし、出現の都度、市街地への侵入を防ぐよう処置することにいたします。お近くの皆さまにおかれましては、夜間や薄明薄暮の行動を避け、お住まい周りの食品、食品ゴミの管理に十分に注意してください。